

保 護 者 各 位

公益社団法人 神戸市私立幼稚園連盟  
理事長 三 木 治 郎  
公益社団法人 神戸市私立保育園連盟  
会 長 黒 川 恭 眞

### 「こども本の森 神戸」への募金について（お願い）

～こどもたちの未来のためにご支援・ご協力を～

このたび、建築家 安藤忠雄さんから神戸市に「神戸のこどもたちのために図書館を建設し寄付したい」との申し出があり、2022年春の開館を目指して建築が始まっています。

そこで、神戸市私立幼稚園連盟と神戸市私立保育園連盟は、「こどもたちが、公園の中で自由に本に触れることで、豊かな感性と創造力を育んでほしい」という思いが込められた素晴らしい施設が神戸の東遊園地に誕生することに賛同し、両連盟が協同して「こどもたちが新たに出会う大切な1冊を届けたい」との思いで、保護者の皆さまに絵本を購入するための寄付をお願いすることになりました。

募金という形ではありますが、未来を担うこどもたちのための図書館建設に関わることで、2022年春の開館がより待ち遠しいものになるのではないのでしょうか。どうか皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

#### 《募金期間》

第1回 令和3年2月1日～3月31日 第2回 令和3年5月7日～5月20日

※募金方法は、各園でご確認ください。

こどもたちが命の大切さを学び、  
豊かな感性と創造力を育む場を創る



「こども本の森 神戸」

2022年春 東遊園地に誕生

## MESSAGE 寄付者メッセージ

次代を担う子どもたちに、  
本と出会うことで豊かな感性と創造力を育んでほしい。



私は子どもの頃、ろくに本を読むことができませんでした。大人になって、読書の楽しさや、大切に気が付き、それから多くの本を読んできました。本は心の栄養となり、人生を豊かにしてくれました。それだけに、もっと幼い頃から、絵本や文学に触れることが出来ていればと後悔もしました。これからの社会を支えていく子どもたちには、出来るだけ多くの本と出会い、豊かな感性を育んで貰いたいと思います。スマートフォンに触る時間を半分に、本を読み、考え、そして悩むことで、人生を生きぬく力を身につけて欲しい。

そこで、25 年前の震災で壊滅的な被害を受けながらも、人々の頑張りによって復興を成し遂げ、美しい街並を取り戻した神戸のまちに、自由に活字文化に触れることのできる、子どもの為の図書館をつくってはどうかと考えました。あの災害の記憶を風化させず、次代の子どもたちに伝えていくためにも、新しい図書館を役立てて頂ければと思います。

古くから文化の集積地として歴史を刻んできた港町神戸。その土壌の上で、次代を担う豊かな感性と判断力を持った子どもたちが一人でも多く育ってほしいと願います。

安藤 忠雄(建築家)

## ABOUT 「こども本の森 神戸」とは



### 運営概要

- 利用対象者：主に未就学児から小学生
- 入館料：無料（有償のイベント、物販も検討）
- 蔵書数 約2万5000冊  
（本の貸し出しはなし。公園へ持ち出し可）

公園に本を持ち出して、  
太陽、風、緑を体で  
感じながら、  
お気に入りの本を読む心地よさを  
親子で味わってほしい。

